



HARRY WINSTON

A New Vision for Harry Winston

ハリー・ウィンストンの新たなヴィジョン

ハリー・ウィンストンについて

1932年、ニューヨークに創業したハリー・ウィンストンは、最高級ジュエリーの製作と高級複雑時計の製作に力を注いできました。創始者のハリー・ウィンストンは、生涯を通じて「キング・オブ・ダイヤモンド」そして「スター達のジュエラー」として語られてきました。宝石そのものに合わせてジュエリーのデザインが決まるという信念に基づき、革新的なジュエリーデザインを考案してきました。それらはハリー・ウィンストンを代表するデザインとして、現在も受け継がれています。

ヨンカーやホープ・ダイヤモンドといった世界有数の宝石の収集から、ハリウッド女優達を着飾り、銀幕の世界を輝かせるに至るまで、80年以上にわたり、ハリー・ウィンストンは「最高峰の証」であり続けています。

さらなる発展のために

「キング・オブ・ダイヤモンド」としての長年にわたる名声を守り続けるため、ハリー・ウィンストンは、“Rare Jewels of the World - 世界中の希少な宝石を提供できるブランド”という考えを含む、ブランドの核をなす基本の価値観を固守することを再認識しました。それゆえ、101カラットのウィンストン・レガシーと13.22カラットの希少なフローレス・ファンシー・ヴィヴィッド・ブルー・ダイヤモンド、ウィンストン・ブルーという、類まれなる2つのダイヤモンドを獲得するに至ったのです。

2014年10月、ハリー・ウィンストンは、新しい広告キャンペーンをスタートしました。それは、古き良き時代のニューヨークに見る人を誘うようなビジュアルです。この新しい広告ビジュアルは、ハリー・ウィンストンの偉大なる遺産を思い起こさせるだけでなく、未来に向けて、ハリー・ウィンストンがこのすばらしい遺産を守り続けるということを強調しています。

今日、ハリー・ウィンストンは、ニューヨーク、ロンドン、パリ、ジュネーブ、ローマ、北京、上海、香港、東京、シンガポールといった世界各国で、33の店舗を運営しています。世界中にビジネスを拡大していく中で、ハリー・ウィンストンはこれまでの偉大なる遺産を守り続け、未来を築いていく考えです。以下は今後の取り組みです。



HARRY WINSTON

- 全世界において、2年間で5つの新店舗をオープン予定
- オープンしたばかりのイタリア・ローマ店のよう、2015年はさらなる新天地の開拓として、ドイツ・デュッセルドルフに新店舗をオープン予定
- 2014年から2016年にかけて、それ以前より45%以上多くの店舗を展開
 - 2014年には7つの新店舗をオープン

amfAR について

1985年、マチルド・クリム博士とエリザベス・テーラーが共同で設立した amfAR は、世界的なエイズの蔓延を終焉させるべく革新的研究活動を行う、世界でも有数の非営利団体です。

2014年2月に始まった“Countdown to a Cure”の研究活動は、2020年までに HIV を撲滅させる科学的基盤を開発することをめざした財団の、治癒に焦点を当てた研究プログラムを強化するために考案されました。これを受けて、amfAR は今後6年に渡り、治癒に焦点をあてた研究に1億ドル投資する計画です。これらの投資は、優れた研究者たちがエイズ治癒を実現するのに妨げとなる4つの主な難関 — ウィルス保菌者の正確な場所を図表にする (Charting)こと、ウィルス発生地域がどのように形成され維持されてきたかを理解する (Understanding)こと、保菌者がどの程度のウィルスを保持しているかを記録する (Recording)こと、そして最後に、ウィルスを撲滅する (Eliminating)こと — を克服するための取り組みを支援するのに充てられます。

戦略的提携

ハリー・ウィンストンと amfAR のパートナーシップ締結は、両社の伝統における中核をなす部分で見事に連携しています。

ハリー・ウィンストンからの支援は、amfAR にとってもきわめて重要な出来事です。同財団史上最大規模となる単一企業とのパートナーシップ締結において、ハリー・ウィンストンは同財団が今後3年間に世界各地で行う予定のガライベントの主要スポンサーを務めることになり、“Countdown to a Cure”の主要支援者となります。これらのイベントは、amfAR の一般運営費の半額以上の資金を集めるために不可欠であり、その収益は同財団の最先端研究や活動を支え、香港をはじめとする新たな世界市場への進出に役立てられます。



HARRY WINSTON

慈善事業の歩み

ハリー・ウィンストンと amfAR とのパートナーシップは、創始者ハリー・ウィンストンから始まり今日もブランドに根強く続く、地域社会を支援する活動を行うという伝統を継承するものです。1949年から1953年にかけて、ハリー・ウィンストンは「Court of Jewels（宝石の宮廷）」として知られる展示会を開催しました。この展示会はアメリカ国内を巡回し、そこで集められた基金は、開催地で活動している慈善事業団体に寄付されました。展示会のハイライトは、45.52カラットにもおよぶサイズの濃紺色を帯びた、世界で最も希少で有名なホープ・ダイヤモンドでした。1958年、ハリー・ウィンストンは、全世界への贈り物として、ホープ・ダイヤモンドをワシントン D.C.のスマソニアン研究機構へ寄贈しました。

彼の社会貢献の精神はその後も引き継がれ、2010年11月、ハリー・ウィンストンは「ハリー・ウィンストン・ブリリアント・フューチャー・チャリタブル・プログラム」という支援プログラムを新たな慈善活動の一環として立ち上げました。このプログラムを通して、ハリー・ウィンストンは、経済的、社会的に恵まれない若者に対する障害をなくし、健全で輝かしい未来を可能にすることを目的に、質の高い教育を受ける機会、文化のおよび芸術的な感性を高める機会を提供している慈善団体に対して、献身的な支援活動を行っています。

「ハリー・ウィンストン・ブリリアント・フューチャー・チャリタブル・プログラム」は、世界中の人々に希望を与え、人生に変化をもたらす活動を展開している団体を支援できることを誇りに思います。同プログラムがパートナーシップを結んでいる慈善事業団体は下記のとおりです。

<ニューヨーク>

- ハリー・ウィンストン・ホープ財団は、恵まれない環境下にある学生に、最高レベルの高等教育機関への進学を支援するスクール、ハーレム・アカデミーの支援を行っています。ハーレム・アカデミーの第1～2期卒業生は、50万ドル以上の奨学金を獲得しました。
- ハリー・ウィンストンは、デュビン・ブレスト・センターも支援しています。同センターは、米国屈指の病院であるマウント・サイナイ病院内にあり、多専門的な研究と一人ひとりへの心のこもったケアのアプローチを行うことで有名です。



HARRY WINSTON

<中国>

- ハリー・ウィンストン・ホープ財団は、インターナショナル・ユース・ファウンデーションのパスポート・トゥ・サクセス・プログラムを支援しています。同プログラムは、困難な状況にある17歳から24歳の若者が、コミュニケーション力の向上、自尊心の確立、目標の設定、効率的作業の習慣の確立、チームワークの理解など、就職の可能性を高めるスキルを習得できるように考案されました。

<ロサンゼルス>

- 2013年、ハリー・ウィンストンは、UCLA マテル小児病院の小児科奨学金制度を支援するにあたり、ハリー・ウィンストン・フェローシップ・ファンドを設立しました。5年間に渡り、同ファンドは、小児疾患の予防、治療、治癒の研究活動を行う小児科医師兼科学者を支援していきます。

<日本>

- ハリー・ウィンストンは、子供たちに学校外教育を受ける機会を提供している、公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンを支援しています。同法人は、学校外教育を十分に受けられない子供たちに対して、学習塾や予備校、音楽・美術教室、スポーツ活動などの課外プログラムに参加できるバウチャーを提供しています。

<シンガポール>

- ハリー・ウィンストンは、2014年11月、シンガポール馬術連盟のイコールアーク・プログラムを支援することを発表しました。同プログラムは、先駆的な馬を利用したレッスンを提供することにより、危険にさらされた子供たちが自信や意欲、前向きな精神を取り戻す手助けをしています。